

落ち着いて過ごせる教室づくり

教室の整理整頓

ポイント1

～心を安定させる～

教室が美しいということは、気持ちを落ち着かせ、課題に向かおうとする意欲を高めます。教室環境を整えることは、心を安定させる第一歩です。

●物の定位置を決めて整理整頓●

物の置き場所を誰にでも分かるように具体的に示すと整理整頓された状態を子どもたちで維持することができます。

●清掃の行き届いた教室環境●

すみずみまで掃除したり、床に落ちているゴミを見逃さず周りの子に一声かけて拾ったりするなど、子どもも先生も美化意識を共有しましょう。

●美しい黒板●

黒板の端に学習とは別の掲示や板書があれば子どもは集中しにくくなります。学習に集中しやすい黒板にしましょう。また、チョークなどが落書きにつながらないように、置き場所等に配慮することも大切です。



掃除ロッカーの表示

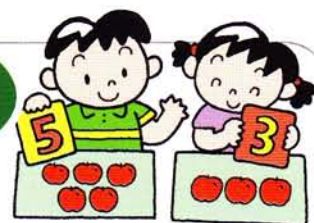
特別支援教育の視点より

子どもにとって、整然と整理された美しい環境は、イライラすることが少なく、落ち着きやすくなります。物の置き場所を決めることにより、保管場所が覚えやすくなり、元の場所に戻しやすくなります。美しい環境を整えると、気が散りにくく、授業にも集中しやすくなります。

座席への配慮

ポイント2

～学習意欲を高める～



「集中できないのはどんなときか」「その子どもの頑張りを見ることができるのはどんなときか」を観察し、座席の配置と関係について考えてみましょう。座席を配慮することで解決できることも多いはずです。

●目的を持った座席の配置●

見ることに配慮の必要な子、音に敏感に反応する子、黒板に近い方が集中できる子、人の動きを見て行動できるよう後方の席が有効な子、モデルになる子が近くに必要の子、教師の支援が必要な子……。それぞれの子どもの特性を見て、意図的に座席の配置をしましょう。多動な子や高い場所が好きな子は窓際を避けるという配慮も大切です。

●学習に集中しやすい座席●

基本的に、前面黒板を正面に見る座り方が学習に向かいやすいですが、話し合い活動等、全員の顔が見やすい座席が効果的なこともあります。場面によって座席の配置の工夫が必要です。また、個々の子どもの机や椅子を体に合った高さにしておくことも大切です。

特別支援教育の視点より

子どもにとって、座席の配置は、授業への参加に大きな影響を与えます。周りにモデルとなる子がいると、その子の動作を見て次に何をすればよいか分かるようになります。また、支援してくれる子が近くにいると、安心して学習に取り組めます。